

あだたら

一月十四日(日)

一月山行、冬山パトロール

報告 □□□□

第423号
発行所 町会
山部 山部
郡 山部
あだたら 山部
編集 山部

●編集連絡先
二本松市野内1-515
0243(22) 4245
Fax可 渡辺 正



薬師岳山頂

二〇二四年一月十四日(日) 今年初めての山行が冬山パトロールとなった。集合時間八時前に奥岳に到着。雪が少ない。登山口には□□副会長と□□さん友人、□□さんがすでに来ている。□□さんと□□さんと私が登山口に到着してまもなく□□さんと□□さん友人が登山口に到着。会員五名、会員以外三名でパトロールを実施することになった。風が強くなることも予想されるが、□□副会長及び参加者で、五葉松平、薬師岳、さらにその先までは行ってみて判断することになった。スノーシューを持っていくか迷う。八時三十分、唯一稼働しているブルーラインリフトに乗って移動開始。リフトを降りてから雪のないグレンデを登って行く。ゴールドラインリフトの降り場付近まで来て小休止。こも雪が少ない。ここから先は踏み固められた雪の上を登って行くことになるので、アイゼンを装着する人、ツボ足のままで進む人とする人それぞれ。雪が少ないこともあり、夏道の通りに登っていく。五葉松平手前に設置されたアルミ梯子はさらに曲がり

大きく変わったような気がする。九時五十分、五葉松平の山に出ている。その先の安達太良山頂は雲の中。ザックを降ろして休憩、水分補給。十時七分薬師岳到着。やはり山頂は雲の中、風も強そう。ここでニグループに分かれる。□□副会長他五名は行けるところまで。残り三名は仙女分岐付近で戻ることにした。薬師岳から先は雪が踏み固められていてツボ足でも行けそう。しかしすれ違い等で登山道より少し外れると膝まで踏み抜いてしまう。十一時、



登山口にて

仙女分岐手前で、二人組の登山者が悪天候で戻ってくる。我々三人もここから戻ることになった。くろがね小屋が閉鎖されているので、薬師岳経由で山頂を目指す登山者が多い。十一時三十分薬師岳まで戻ってくと山頂付近の天候が回復し青空が見えてきた。これだったら先発組は山頂まで行けそう。我々三人は五葉松平まで下って、軽く腹ごしらえ。十三時、奥岳登山口到着。レストハウスで先発組を待つことにした。先発組は薬師岳から先で□□副会長と□□さんの友人二人

がスノーシューを装着。□□さんは軽アイゼンだったので仙女分岐から先で雪に足を取られ体力を消耗したとの事。山頂へは十二時到着。山頂は快晴で二十分休憩し下山開始。十三時二十六分薬師岳に到着。十四時二十八分に奥岳登山口に返ってきた。レストハウスにパトロール参加者全員が集合し、□□副会長の話の後解散となった。パトロールに参加された皆様お疲れ様でした。

◆ ◆ ◆
冬山パトロール報告を大相撲観戦しながら、所謂ナガラ作業をしていた。若隆景の取り組みになった時、キーボードから手が離れずテレビに集中。若隆景が勝ったと喜んだ瞬間、カメラが観客席に向けてアップで映される。あつっ・山の会の区さん夫婦。郷土力士を応援しながらの相撲観戦うらやましい。ナガラ作業はやめて大相撲観戦に集中することにした。



一月二十九日(月) 安達太良山岳遭難対策委員会 冬山遭難救助訓練(速報)

報告・編集部

14時15分
解散直後、当会からの参加者10名

一月一日(月) 元日山行・くろがね小屋

報告 □□□□



13時8分、勢至平分岐

今年もお城山で初日の出、地元の神社へ初詣が来ました。朝食後準備をし、天気も良いので奥岳へ。十時三十分入山、十五時下山くるがね小屋ピストンの入山届けを出し入山する。雪も少なくスキー場はまばら。登山道は雪解けでアイスバーン、スパイク長靴でも滑る様だ。鳥川の氷柱もいつもより小さい様だ。林の中の旧道は凍り付き、廻りの方には殆ど雪がない。途中から馬車道に入る。工事で掘変したので、凸凹で

歩きにくい、途中陽だまりで昼食する。八の字当たりからは雪も少し有り、歩き易くなる。風も無く山頂や稜線は上空に少し風があるのか見え隠れ。勢至平分岐一時十分。予定通り小屋迄行けると思い向かう。金明水のあたりで、無言で追い越した男性一人、馬車道と湯川コースからの合流点、一時三十三分。くろがね小屋をカメラに収め下山する。勢至分岐で休憩、コーヒーを飲んでると若い男性一人登って

来たので、これから何処まですかと声を掛けると、ニコニコしながら小屋迄の事。立話をしていると小屋でアルバイトをしているとの事で、私を覚えてくれていたみたいで、話しも弾む。小屋が営業していた時は多くの登山者がいたが、登山口で下山の一人と三人だけであった。さみしい安達太良の元日であった。早い営業を願い、三時三十分無事下山する。



11時3分、鳥川橋の氷柱



13時33分、くろがね小屋

一月五日(金) 正月ドライブ山行、鹿狼山

報告 □□□□



12時5分、鹿狼山山頂

正月松の内に毎年行っていた鹿狼山へ今年も一月五日朝八時半出発で、昨年は竹駒稲荷神社へ行ったが今年は浜のハイウエーを楽しみ、八時半家を出る。途中山友と合流、針道より国道三四九号を霊山インターへ。大小十一ヶ所のトンネルで出来た高速を通り、山上インターでおり、常磐自動車道と平行して通る地方道を通り、新地インター、鹿狼山登山口駐車場へ。十

一時入山、樹海コースを山頂へ。山頂十二時。吾妻山、蔵王山や大東岳、眼下に広がる平野。海の向こうに牡鹿半島など眺望を楽しみ、お土産を買った。天気も良く多くの登山者、土手の小さな広場で昼食を楽しみ、話しながら咲く。二時十五分登山口へ下山、これからは、浜のドライブである。新地町より相馬互理線を原釜へ。浜の駅で買いもの。右に松川浦左に太平洋の大洲海岸



14時14分、鹿狼山神社鳥居

を楽しみ、相馬道の駅より県道二六八号を真野ダムへ。見晴台まで行ってみたが、ダム水量が少なく、いまいちだった。飯館村草野より、県道十二号を川俣へ、針道、二本松と友と別れ、六時十五分帰宅する。約二〇〇キロのドライブ楽しみ、渴いた喉をビールで潤し最高の幸せを感じた。

奥岳集合七時半、当日の出、六時四十三分、奥岳への途中で日の出になった。岳下の「将棋の墓」の少し先で、柔らかなピンク色に染まった、山頂を望めた。モルゲンロートの条件に手前の山並みには光が当たってはならない、それも満足している、早速撮影した。当日は温かな日でゲレンデは雪解けで、地面が見えたりしていた。来月の会報で紹介できるかも。

編集後記 四二三号

◆一月二十九日(月) 遭難救助訓練。天気予報では寒気が抜け、暖かくなる予報

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。